

梁川ホームだより

No. 9

●平成15年6月1日発行 (題字 佐藤理事長)

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 曳地 勝正
福島県伊達郡梁川町字東土橋65-1 TEL 024 (577) 6111(代) FAX 024 (577) 6115

事業内容

- 特別養護老人ホーム 梁川ホーム 定員80名
- 短期保護施設(ショートステイ) 定員20名
- デイサービスセンターⅠ型
- デイサービスセンターⅡ型
- 梁川町在宅介護支援センター
- ケアハウス広瀬 定員30名
- 居宅介護支援事業所

〔梁川ホーム運営理念〕

安全・安心・ゆとりの
梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

おかげさまで開所6周年をむかえました



多くのご来賓の方々にご参加をいただき、4月2日に恒例の開所記念寿司パーティーを開きました。

さわやかな梁川女声コーラスの皆さんの歌声に酔いしれたあとは、利用者の方の目の前でにぎってくれる栄寿しさん親子のお寿司に舌鼓をうちました。特にトロと甘えびが人気でした。

毎年、気持ちよくかけつけて下さる梁川女声コーラスの皆さんと栄寿しの御主人と若主人、ボランティアひろせさんありがとうございました。

そして、ご家族の皆様、地域の皆様に支えられて、無事に6周年を迎えられましたことに心から感謝申し上げます。



私達はあなたのその笑顔に
応えたい

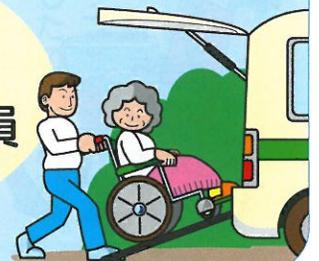


地域の皆様のお役に立てるより充実した福祉施設を目指して、4月よりこんなサービスを始めました。ぜひご利用下さい。

1 デイサービスは、土曜日も行っています



2 ショートステイを利用される方は、土曜日、日曜日、祝日も施設の職員が送り迎えします



特集8 「人間尊重の施設づくりに向けて」

— 梁川ホーム運営理念具現化への第一歩 —

梁川ホームの運営理念に基づく 取り組みと現状について

「安全・安心・ゆとり」の保障が守られているか？

平成9年4月に梁川ホームが開所してから、今年で7年目を迎えました。

これまで、運営理念を掲げ、理念に根ざしたお世話をさせていただこうと努力してきました。つもりですが、現状はどうなのか、本当に運営理念に根ざした処遇となっているのかを確かめることなく過ぎてきたのではなにかという自戒の意味で、今回紙面を借りて検証していくことにいたしました。

ホームの運営理念は、広報の第一面上段に掲載されていますが、キャッチフレーズの「安全・安心・ゆとり」が保障されているのかということが今回のテーマです。



一、「安全について」

安全から導き出されるイメージは、身体介護上の安全性並びに事故防止対策による安全性が考えられます。

身体介護上の安全性とは、介護にあたる職員が、基本的な介護技術を身につけた上で、お年寄り一人ひとりの心身の状態を把握し、それぞれの方の状態に応じた介護が行えるということ。麻痺の状態、皮膚の状態、飲み込みの状態、どれ一つ取ってもお年寄り全員が同じ状態にあるということはないこと、また同じ方でも日によって状態が変わることがあるため、職員には基本的な介護技術の他にも観察力、判断力、応用力など様々な力量が求められます。

事故防止対策は、職員個々の介護技術だけでなく、気づきや意識、考え方も関係してきます。どういうことかという点、廊下が水でぬれているのを見て、「あつ水でぬれている。」という認識と「水でぬれている。このままにしておいたら、歩いている人が滑って転んでしまう危険がある。」という認識との違いにより転倒・骨折という重大事故の危険が回避出来るか出来ないかに分かれていくということ

です。つまり、「水で滑って転倒したら大変」という認識は、ぬれている所を拭くという行為に結びつき、それにより事故を防止できるのですが、「ぬれている。」で止まれば拭くという行為には結びつきにくく、事故の危険性を放置していることになるからです。

廊下の水の話は一つの例です。毎日の生活の中で、このような認識の違いにより回避できる事故は、実に多岐に渡ります。ちよつと目を離した際に、他のお年寄りのお世話をしている間に起きた事故は、本当は、「この状態では事故が起きるかもしれない。」という認識の不十分さが招いたものかもしれない。気づきや意識は鍛えられて身についていくものであり、職員自身の意識向上が、より確かな「安全」を保障していくことになるのだということを、繰り返し確認し合っていく。それが今回の検証で導き出した答えです。



二、「安心」

お年寄りの「安全」な生活を保障していくことが、お年寄り自身だけでなくそのご家族の方

達にも「安心」していただける必要最低限のサービスと考えれば、プラスαの安心はどのようなことで感じていただけるだろうか？と考えるに、情報の提供ではないかと思えます。以前、利用者のご家族から、「利用中の様子について説明をしてもらえなかった。」という苦情を頂戴したことがあります。大切な家族の一員を止むを得ない理由で施設に任せなければならぬご家族の気持ちを思えば利用していただいた間、どのように過ごされたか報告すること、お預かりした側として当然の義務であるにも関わらず、そのような失敗をしていた時期もあったのです。

その頃から比べれば、随分職員の意識も変わってきていると思えますが、今後より一層の安心をお届けするためには、「何かあつたらすぐ報告」に止めず、「何もなくても報告」という情報の提供を心がけていくことも大切なことだと考えさせられます。

三、「ゆとり」

ゆとりには、時間としてのゆとり、精神的なゆとり、空間的なゆとりの三つが挙げられると思えます。三つのゆとりが保障されることが真のゆとりを生むのではないのでしょうか？

実はこれは個別処遇を目指していく上で重要な条件となっています。特養の入所者80名に、4グループに分かれていた

たのも、日々の流れ作業的なお世話、時間に追われたお世話ではなく、時間的なゆとりとお世話をさせていただく職員との精神的なゆとりを取り戻し、一人ひとりのお年寄りの生活のリズムに合わせたお世話—個別処遇—により、利用していただくお年寄りにも精神的なゆとりを感じていただきたいと考えることが発端となっています。

空間的なゆとりについては、ただスペース的に広いということが良いのではなく、「生活の場」「くつろげる空間」であることが求められると思います。三つのゆとりの保障にはまだまだ改善の余地がある状態です。

以上、「安全」「安心」「ゆとり」について検証してきましたが、考えれば考えるほど、三つの内のどれか一つが不十分という状態では、他の二つの保障も十分とはいえない。運営理念の具現化（個別処遇の充実）には繋がっていかないかということに気づかされたように思います。

今回の検証により、明らかにした当施設の弱点を素直に見つめ直し、新たな気持ちで処遇の向上に取り組んでいかなければならないと考えました。





ポカポカ陽気の中
テラスに出てお花見

ゆとりある生活をめざし

余暇活動を中心に、そんなゆとりのひとときをご紹介します。
4〜5人のグループで買い物や食事、時にはドライブへ。行き先は梁川町内から福島市内まで様々です。皆さん大変楽しみにされているようで、帰りの車内は買物袋でいつもいっぱい。

外出

梁川ホーム

梁川ホームの運営理念にもある「ゆとり」。毎日の生活の中で、入所者の方々にゆとりある時間を過ごしてもらえよう心がけ行事やレクリエーションを計画しています。今回は、



この日は福島サティへ、さあ、何をかきましょうか？



「そーれ!そーれ!」
みんなのいきがピッタリあってる

お祝い

誕生日には、ご家族をお招きしての昼食会。ご希望のメニューをご用意します。たまには夫婦水いらず、ビールで乾杯なんてのもいいのでは？



レクリエーション

毎月2回はレクリエーションの日。内容はいろいろですが、歌とゲームが中心。昔懐かしい歌をうたったり、ノリの良い曲にあわせてゲームで体を動かしたり、つつい皆んなはりきってしまうみたいです。

次はどんなゲームで盛り上げていこうか、思案中です。

4月より、シヨートステイ選任のスタッフが配置される事となりましたのでご紹介します。

私たちが担当します



利用者の皆様に、気持ちよく過ごして頂けるように、スタッフ一同一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願います。皆様のご利用、お待ちしております。



デイサービスセンター

さびしかった風景は暖かさとともに、すっかり生き生きとした緑あふれる景色に染まりました。こんな気持ちのいい毎日が続くといいますが、何かむしゃくしゃした気持ちになる梅雨空の日でも、どこか体調の思わしくない日であっても、今日はよい日であったと考えられることを「日々是好日」といいます。

私たちデイサービスでは様々な心持ちで来所される利用者の皆様に、「今日はデイサービスにきてよかったな。」「デイサー

▲測量ゲーム
グループで新聞の長さを考えています。
「次はバスタオルの重さです！」

「おばあちゃんをデイサービスにお願いできるおかげで、安心して家業に励むことができます。」
(M・Yさんご家族)
そんな声を聞きながら、今後とも利用者の皆様はもちろん、家族の皆様にもゆとりを持った一日・今日はデイサービスを利用してよかったなと思ってもらえるようなサービスの提供に努力していきたいと思っております。

ビスを利用していい一日になったな。」そんなふうにも思ってもらえるようなサービスの提供を心がけております。
同時に介護されるご家族の皆様へのニーズにもお答えできるように、祭日営業・時間延長、大好評のリハビリマッサージ・理髪サービスに続き、四月より土曜日営業を開始いたしました。

《利用者の家族の声》

「日中、おばあちゃんがデイサービスに行ってくれるおかげで私たちもいろいろリフレッシュの時間をとることができます。」
(H・Aさんご家族)

ケアハウス広瀬

ケアハウスで誕生会をする理由

安全・安心・ゆとりを求めて

ケアハウスでは、利用者の方の誕生会をその方が生まれた日に行っています。

この誕生会については、「何年も誕生日のお祝いなんてしたことないのに今さら誕生会なんて」「この年で、はずかしいからすることない」など、いろいろな意見を頂戴しています。その意見は尊重しながらも、誰にでも一年に一回はある誕生日を、ケアハウスでは大事にしたいと考えています。この世に生を授けてくれた両親に感謝する日であり、誰しも少々具合の悪いところはあっても、毎日元気



今年も元気に一つ年を重ねました



それ一息をいっぱい吸い込んで、フー

にがんばっている自分をほめてあげる日でもあるからです。職員が企画したこの催しに参加していただき、真剣な面持ちでパースデーケーキのろうそくの火を消して下さる利用者の方々に、私達は心から感謝しています。

ケアハウスのような高齢者の施設は、まず何といっても第一に安全でなければなりません。でも、安全が確保されたならば、心の安心と潤いのある生活が人間には必ず必要になってきます。たかが誕生会一つで、どうにかなるものではないのですが、さレド誕生会…になるように皆さんと一緒に心豊かな生活の場を、今後とも模索しながらすすめてまいりたいと思っております。



草むしりのあとのティータイム。コーヒーの大好きな3人です



母の日のプレゼント「デンドロビウム」をながめて



「はい、みなさん笑ってください」「あ、ちょっと笑い過ぎです！」
花見 観月台公園



▲「ヨイシヨイ」
今年百歳の佐々木佐蔵さん、力強く杵をふるい、おめでたいもちをふるまいました。



◀ホーム前にてお散歩
「きれいだない。」
五百本のチューリップが笑顔で迎えてくれました。



らに
らちも
うらち
の気持
春のゆ

四月より介護報酬の改定が実施され、二ヶ月が経過します。今回「在宅重視」とうたわれ、訪問介護の内容が大きく変わりました。「介護タクシー」の新設に大きな期待を寄せたものの、残念ながら、近隣に利用できる事業所がないのが現実で

す。ケアプラン内容にもよりますが、介護サービスの利用料金の増減を実感されているのではないのでしょうか。ケアプラン作成にも「在宅重視」が組み込まれ、利用者の自立支援を盛り込むよう義務づけられました。ケアプランは利用

梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

*写真のものは介護保険制度で、レンタルすることもできますので、詳しい事はご相談下さい。



電動車の試乗OKです

今年も新たな介護用品が仲間入りしました。利用者の身体面に合わせられる器械、シルバーカー、電動車（セニアーカー）、杖など、外に出て歩くのが楽しくなりそうな絵柄付きのを用意してあります。是非御覧になっ



カラフルな杖、3点杖、4点杖など取り揃えました

て下さい。電動車の試乗もできます。又、在介では、高齢者世帯、一人暮らしのお宅を訪問させて頂いております。今の生活を少しでも長く、維持し続けること



ができるようにサポートしていきたいと思っております。お気軽にご相談下さい。自立の方でも、生活面に不安があると思いますので、町の自立支援サービスを利用して、前向きな生活を送られるようにおすすめます。



者の方とケアマネージャーが一緒に作っていくものです。膝を交え、その人らしい納得のいくケアプランをご提案していきたいと思っております。



初めに、『痴呆』とその主な症状についてお話ししたいと思います。痴呆性高齢者の介護にあたるには、それらのことを押さえることが大切であると考えられます。

『痴呆』は医学的には「精神疾患の一つで、一旦正常に発達した知的機能が、後天的な脳の器質的障害によって持続的に低下し日常生活が営めなくなつた状態」と定義されています。アルツハイマー型痴呆、脳血管性痴呆などの名前を耳にされたことがあるかも知れませんが、『痴呆』とは、

お年寄りのお世話

『在宅での痴呆性高齢者介護のポイント』

脳の萎縮や脳細胞の死滅など脳の病変が原因となって起こるこれらの痴呆のことを言います。

これに対して『ぼけ』という言葉の方がありますが、『ぼけ』といった場合には、定義に照らしての痴呆ではないけれども、もう少し広い範囲で痴呆と同じような症状を見せるものの総称として使われているようです。

ぼけ症状には、脳の病変によるもの以外に、体の病気や薬の影響によって起こるせん妄状態、人との交流や刺激がなくなることによる廃用性症候群、妄想やうつ病などの心の病によるもの、などによっても起きます。

このように痴呆には、はっきりとした原因があるのです。

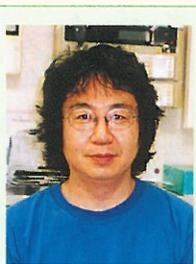
次に、痴呆の『症状』について主だったものをお話します。一つは**記憶障害（物忘れ）**です。これは、人の名前や日時がなかなか思い出せないといった健康な人の老化による物忘れとは違って、一つの体験全部を忘れてしまうというのが特徴です。もう一つは**認知障害**です。

例えば、場所が分からない、朝晩の区別がつかない、自分の年齢について見当違いなことを言う、などです。さらには自分が痴呆であるという自覚（病識）がないということも。そしてそれらによって自分で日常生活を送ることが困難になってしま

る、という安心感を相手に与えることになりません。最後に、相手の気持ちを自分のことのように感じようとする（『共感』的な）態度です。どんな人にもこれらの接し方はとても大切ですが、自分の意思を思うように伝えられない痴呆症の方に対しては特に重要になります。

また一方で、介護する側が心の安定を図ることも大切なことです。家族の方自身が日々大きなストレスの中で介護されているのではないでしょうか。ご自分だけで抱え込もうとせず、大変さや悩みを共有できる仲間の方を作ることも、またデイサービスなどの社会資源を利用してご自分のリフレッシュを図るこ

とも、とても重要です。在宅での介護は、誰かが簡単に代わることでできない、また成果が目に見えずわかりづらい大変なものであると思います。しかし、地域社会の中で高齢者福祉に関わる様々の分野の者が一つになつて、ご家族と共に介護を進めていくことが大切であると強く感じています。



お年寄りを介護されるうえで困りの事がありましたら、お気軽にご相談下さい。

TEL (577) 6111

特養 介護士長 石塚

ボランティアの楽園状況

(平成15年2月〜4月)

様々なボランティアの方に来ていただき、利用者の皆様方の生活の潤いとなつていていることを感謝申し上げます。

- ▽福島介護福祉専門学校 長澤晃(霊山町)、白坂様(福島市)
▽利用者介助・会話▽仙台福祉専門学校 中山純様(梁川町)
▽渡辺アキ様(国見町)
▽介助・会話▽淑徳大学 大波一博様(梁川町)
▽利用者介助・会話▽仙台医療福祉専門学校 鈴木美香様(梁川町)
▽利用者介助・会話▽梁川小学校 ボランティア委員会様(梁川町)
▽入所者とのふれ合い▽梁川第三長寿会様(梁川町)
▽舞踊・歌▽梁川中央保育園児様(梁川町)
▽お遊戯▽しらうめ保育園児様(梁川町)
▽お遊戯▽梁川町児童館児童様(梁川町)
▽利用者とのふれ合い▽梁川保育園児様(梁川町)
▽お遊戯
▽ひな祭り
▽梁川地区婦人保健協力員様(梁川町)
▽舞踊
▽開所記念
▽栄寿し様(梁川町)
▽握り寿司協力▽梁川女声コーラス様(梁川町)
▽合唱▽ボランティアひろせ様
▽利用者介助
▽定期
▽JAふれあいグループつくし会様(梁川町)
▽ボランティア
▽喫茶▽梁理ホーム会様(梁川町)
▽理髪▽梁川町陶芸サポート会

『芳志』の状況

(平成15年2月〜4月)

- 様(梁川町)
▽陶芸教室▽栗野婦人会様(梁川町)
▽オーダー食▽梁川将棋愛好会様(梁川町)
▽将棋クラブ▽栗野書道クラブ様(梁川町)
▽書道教室▽伊達方部退職公務員連盟女性部様(梁川町)
▽保原町・霊山町・月館町)
▽入所者との対話▽山本マツサージ様(梁川町)
▽デイサービスマツサージ▽三浦理容店様(梁川町)
▽デイサービス理髪▽梁川俳句会様(梁川町)
▽毎月ケアハウスに俳句を掲示
▽ご遺志
▽ご寄付・寄贈
○さらら会様(梁川町)
▽処遇・向上のために○やながわ女声コーラス様(梁川町)
▽御祝い○社団法人梁川町シルバー人材センター様(梁川町)
▽御祝い○新開町内会長佐藤宣夫様(梁川町)
▽御祝い○花輪満様(梁川町)
▽櫻仏像台座○大槻ヒサ様(桑折町)
▽鉢植え○梁川第三長寿会様(梁川町)
▽雑巾○飯沼トミエ様(梁川町)
▽タオル○後藤陽子様(梁川町)
▽お手玉○芳賀えい様(国見町)
▽絵画○野間トヨノ様(梁川町)
▽習字紙○中村様(保原町)
▽タオル○匿名希望の方からハビリ用具等の購入基金として金百万円のご寄付がありました。